

理科復習プリント

No. 1

6年 組 番 名前

☆しばらく理科がないので、いろいろと復習をしてみましょう。おぼえていますか。知っていますか☆

【1】次の内容について、正しければ○、まちがっていれば×で答えなさい。まちがいを正せる場合は、【例】にならって直してみよう。

【例】太陽は東から西に動く。一方、月はその逆である。

↳も東から西に動く

(×)

(1) 1日の気温は、日中は高く、夜に低いことが多い。 ()

(2) 水と金ぞくと空気では、空気がいちばん熱は伝わりやすい。 ()

(3) マッチに火をつけるとき、自分のやりやすいようにすればよい。 ()

(4) 星座は時間がたっても、位置や星の並び方は変わらない。 ()

(5) 東京ドームの屋根は空気によって、中から押し上げられている。 ()

(6) 太陽電池には+極と-極はない。 ()

(7) 光はまっすぐ進む性質がある。 ()

(8) 食塩とホウ酸ではホウ酸の方が水にとける量が多い。 ()

(9) 鏡で反射した光はまっすぐ進む。 ()

(10) 結局のところ、ふりこの一往復する時間はふれはばで決まる。 ()

～おまけ【やや難しい】～

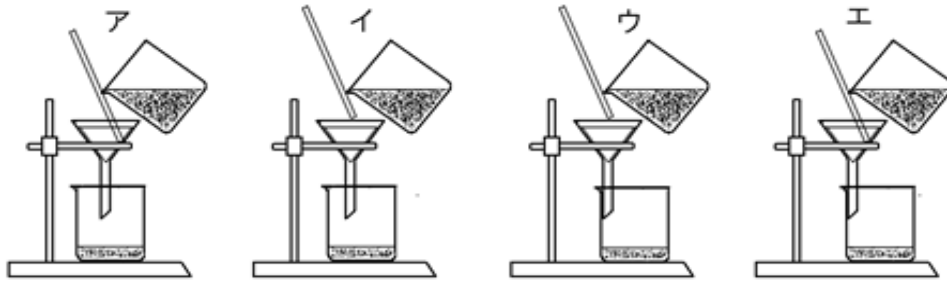
(11) 日の入りとは、太陽の中心が地平線の真ん中に来た時の瞬間をいう。 ()

(12) 人間のろっ骨の本数は、24本である。 ()

(13) コイルと磁石だけで発電ができる。 ()

【2】実験の道具の使い方について、次の問題に答えましょう。

(1)ろ過の方法として正しいものを次から選びなさい。



()

(2) 次のア～オは、けんび鏡で観察する方法について説明した文です。正しい順番にならべかえましょう。

ア、横からよく見て調節ねじを回しスライドガラスをできるだけ対物レンズに近づける。

イ、スライドガラスをステージにのせる。

ウ、しぼりを回して、観察したいものが最もはっきり見えるように調節する。

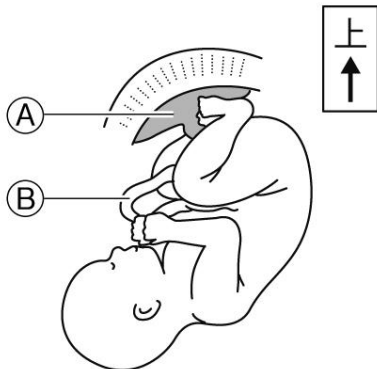
エ、接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回して、スライドガラスを接眼レンズから遠ざけながらピントを合わせる。

オ、対物レンズをいちばん低倍率なものにする。

(→ → → →)

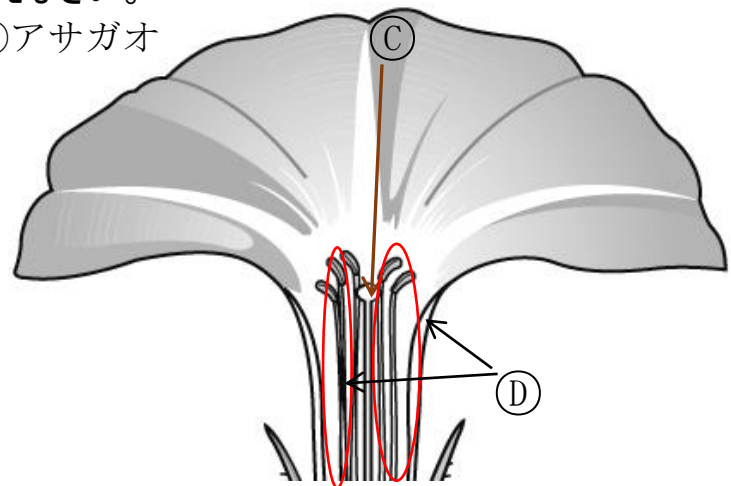
【3】次の㉠～㉡が指す部分の名前を答えなさい。

①



■子宮の中での子どもの育ち方

②アサガオ



㉠ ()

㉡ ()

㉢ ()

㉣ ()

【4】5年生の学習のポイントとなるものを一気に見ていこう。それぞれ()に入ることばを思い出して入れなさい。

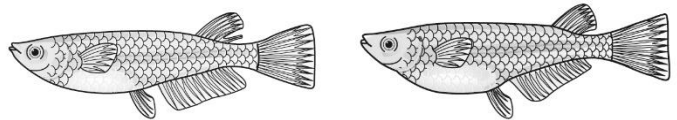
① 日本付近では天気は()から()の方角に変わっていく。

② 種子が発芽する条件は、()・()・水である。

③ 種子が発芽するために必要な養分の名前は()であり、それを調べるのに使ったのが、()である。

④ 植物が成長するのに必要なのは②で答えた3つのほかに()と()の2つが必要である。

⑤ 次の図で、メダカのオスとメスを見分けるときには、()と()を調べるとよい。ちなみに、オスは()側である。



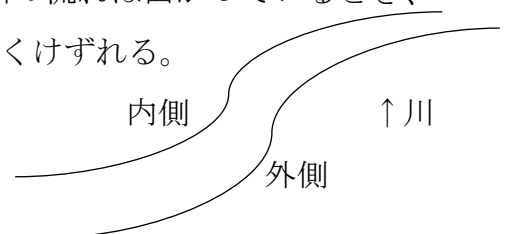
⑥ めだかのメスが()を産み、オスが()を出す。それらが結びつくことを()という。

⑦ 植物が実をつくるには、めしべの先に()がついて()する必要がある。

⑧ 日本のはるか南の海の上で発生し、しだいに北のほうへ動き、多くの雨をふらせ、強い風をともしなうものは()と呼ばれ、毎年各地で被害を出している。

⑨ 流れる水のはたらきは地面などをけずる()、けずったものをおし流す()、そして積もらせる()の3つがある。

⑩ 川の上流と下流の石のちがいを学んだ。上流の石は()石が多く、下流の石は()石が多い。また、川の流れる曲がっているとき、()側の方が流れの速さは大きいのでよくけずれる。

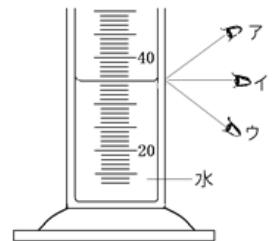


- ⑪コイルの中に鉄心を入れて電流を流したものを (.....) という。
- ⑫その電磁石の極 (=N 極や S 極) を入れかえるならば、(.....) とよい。また、強くする場合は、(.....) を変えたり、コイルの (.....)。

⑬長いつつを使って食塩がとけるようすを見ました。食塩をひとつまみ落とすと、食塩は流れ星のようにとけて、底につくころには (.....) になった。つまり、「とけた」。このように水にもものがとけた「とうめいな液」を (.....) という。

⑭水 100g に砂とう 10g をとくと、(.....) g になる。つまり、「とくす前の全体と重さ」と「とくしたあとの全体の重さ」は (.....)。

⑮必要な体積の水をはかりとるときに使うのが、(.....) である。



これは、水平なところにおいて、図の (記号:.....) のように見る。

⑯ろ過した液のことを (.....) という。ろ過したホウ酸 水よう液を蒸発させると (.....)。つまり、ろ過をしても、その液には (.....) ということがわかる。

～以上～

～チャレンジ問題：解決方法を考えよう。～答えは作っていないので、モヤモヤしてください～

【5】次の問題と向き合ってみましょう。

つき さん た
月 三太くん (仮名) は、ミョウバンの大きな結晶が作れるのなら、食塩の結晶も作れるだろうと思い、同じ方法で結晶づくりをやってみました。けれども、うまくいきませんでした…。😞

問1 なぜミョウバンと同じ作り方でやっても作れないのでしょうか。何に気づくべきだった？

問2 どのような方法が考えられるでしょうか。食塩とミョウバンのちがいに着目してみましょう。
(ここに気づいたことで、ミョウバンほどではないけれども、大きな結晶ができました。(感動))

理科復習プリント

No. 1

6年 組 番 名前

☆しばらく理科がないので、いろいろと復習をしてみましょう。おぼえていますか。知っていますか。

☆

《解答例》

【1】次の内容について、正しければ○、まちがっていれば×で答えなさい。まちがいを正せる場合は、【例】にならって直してみよう。

【例】太陽は東から西に動く。一方、月はその逆である。

↳も東から西に動く (×)

(1) 1日の気温は、日中は高く、夜に低いことが多い。 (○)

(2) 水と金ぞくと空気では、空気がいちばん熱は伝わりやすい。 (×)

↳金ぞく

(3) マッチに火をつけるとき、自分のやりやすいようにすればよい。 (×)

↳人のいない方に向けて手前に擦る

(4) 星座は時間がたっても、位置や星の並び方は変わらない。 (○)

(5) 東京ドームの屋根は空気によって、中から押し上げられている。 (○)

(6) 太陽電池には+極と-極はない。 (×)

↳ある

(7) 光はまっすぐ進む性質がある。 (○)

(8) 食塩とホウ酸ではホウ酸の方が水にとける量が多い。 (×)

↳食塩

(9) 鏡で反射した光はまっすぐ進む。 (○)

(10) 結局のところ、ふりこの一往復する時間はふれはばで決まる。 (×)

↳ふりこの長さ

～おまけ【少し難しい】～

(11) 日の入りとは、太陽の中心が地平線の真ん中に来た時の瞬間をいう。 (×)

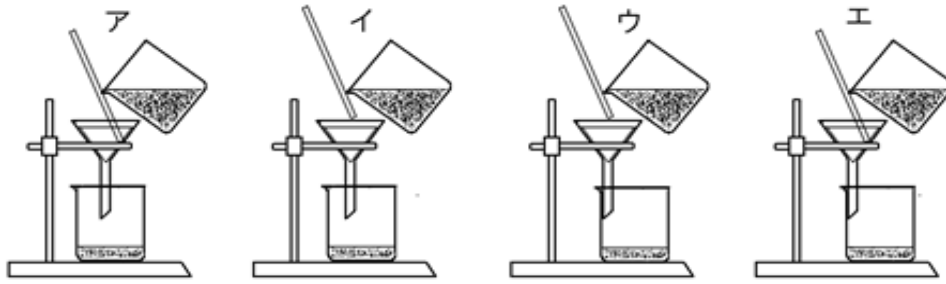
↳太陽のあたまの部分(上辺)が地平線に接する

(12) 人間のろっ骨の本数は、24本である。 (○)

(13) コイルと磁石だけで発電ができる。 (○)

【2】実験の道具の使い方について、次の問題に答えましょう。

(1)ろ過の方法として正しいものを次から選びなさい。



(エ)

(2) 次のア～オは、けんび鏡で観察する方法について説明した文です。
正しい順番にならべかえましょう。

ア、横からよく見て調節ねじを回し、スライドガラスをできるだけ対物レンズに近づける。

イ、スライドガラスをステージにのせる。

ウ、しぼりを回して、観察したいものが最もはっきり見えるように調節する。

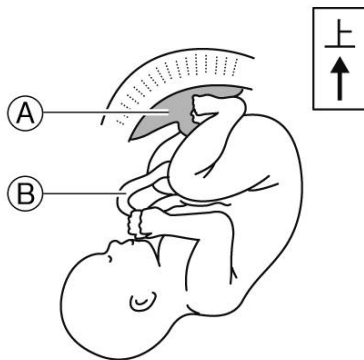
エ、接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回して、スライドガラスを接眼レンズから遠ざけながらピントを合わせる。

オ、対物レンズをいちばん低倍率なものにする。

(オ → イ → ア → エ → ウ)

【3】 次の(A)～(D)が指す部分の名前を答えなさい。

①

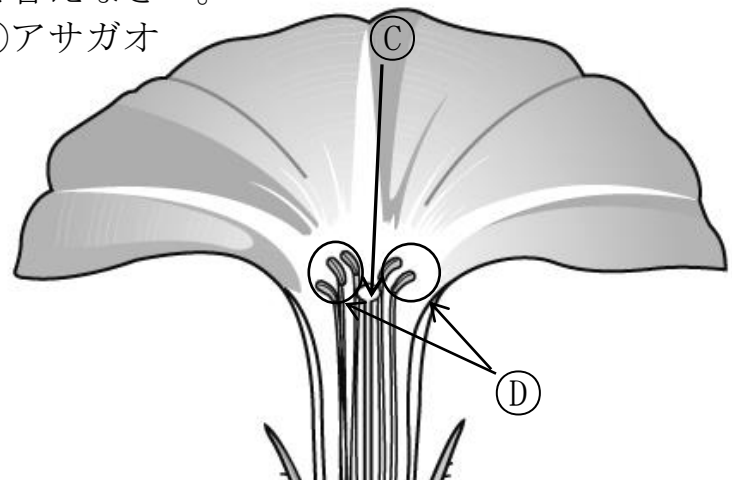


■子宮の中での子どもの育ち方

(A) (たいばん(胎盤))

(B) (へその緒(お))

②アサガオ



(C) (めしべ) △柱頭*

(D) (おしべ)

※確かに、めしべの先っちょを指しているのが柱頭でもいいですが、これは中学校で覚える言葉なので、小学校で学習する「めしべ」を正解としています。

【4】5年生のポイントとなるものを一気に見ていきます。それぞれ()に入ることばを思い出して、入れなさい。

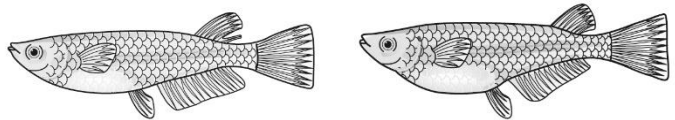
① 日本付近では天気は(**西**)から(**東**)の方角に変わっていく。

② 種子が発芽する条件は、(**気温**)・(**空気**)・水である。(順不同)

③ 種子が発芽するために必要な養分の名前は(**でんぷん**)であり、それを調べるのに使ったのが、(**ヨウ素液**)である。

④ 植物が成長するのに必要なのは②で答えた3つのほかに、(**肥料**)と(**日光**)の2つが必要である。(順不同)

⑤ 次の図で、メダカのオスとメスを見分けるときには、(**背びれ**)と(**しりびれ**)を調べるとよい。ちなみに、オスは(**左**)側である。



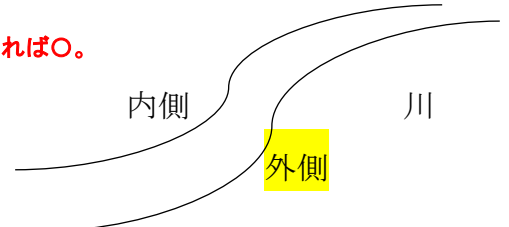
⑥ めだかのメスが(**卵**)を産み、オスが(**精子**)を出す。それらが結びつくことを(**受精**)という。

⑦ 植物が実をつくるには、めしべの先に(**花粉**)がついて(**受粉**)する必要がある。

⑧ 日本のはるか南の海の上で発生し、しだいに北のほうへ動き、多くの雨をふらせ、強い風をとともなうものは(**台風**)と呼ばれ、毎年各地で被害を出している。

⑨ 流れる水のはたらきは地面などをけずる(**しん食**)、けずったものをおし流す(**運ばん**)、そして積もらせる(**たい積**)の3つがある。

⑩ 川の上流と下流の石のちがいを学んだ。上流の石は(***角ばった**)石が多く、下流の石は(***丸みをもった**)石が多い。また、川の流れは曲がっているとき、(**外**)側の方が流れの速さは大きいのでよくけずれる。 ***だいたい合っていればO。**



- ⑪コイルの中に鉄心を入れて電流を流したものを(**電磁石**)という。
- ⑫その電磁石の極(N 極・S 極)を入れかえるならば、(**電流の流れを逆にする**)
とよい。また、強くする場合は、(**電流の大きさ**)を変えたり、コイルの
(**巻き数を増やす**)。

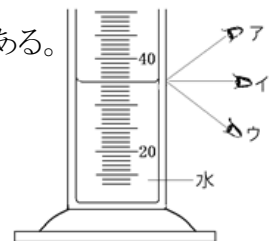
⑬長いつつを使って食塩がとけるようすを見ました。食塩をひとつまみ落とすと、食塩は流れ星のようにとけて、底につくころには(**見えなく(消えてなく)**)なった。つまり、「とけた」。このように水にものがとけた「とうめいな液」を(**水溶液**)という。

⑭水 100g に砂とう 10g をとかすと、(**110**)gになる。つまり、「とかす前の全体と重さ」と「とかしたあとの全体の重さ」は(**同じ [等しい]**)。

⑮必要な体積の水をはかりとるときに使うのは、(**メスシリンダー**)である。

これは、水平なところにおいて、図の(記号: **イ**)のように見る。

⑯ろ過した水よう液のことを(**ろ液**)という。ろ過したホウ酸水よう液を蒸発させると(**【例】白い粉(ホウ酸)が出てきた**)。つまり、ろ過をしても、その液には(**ホウ酸がとけている**)ということがわかる。



～以上～

👉どれだけ覚えていたでしょうか。できなかったものは教科書でふり返っておきましょう！6年生の理科も興味深い内容がたくさんです。お楽しみに。

今回は、今回取りあつかえなかったものやもう少し考える問題を用意する予定です。